

# ブロック活動報告書

活動申請書:No.2018-2

作成日:(西暦)2018年5月29日

ブロック:北関東ブロック

名称: 第1回 北関東ブロック会議

1. 実施日時:2018年5月12日(土曜日) 14時00分～16時10分

2. 会場: 日本訪問看護財団 会議室

3. 講師: \_\_\_\_\_

4. 参加人数:計 6 人

県名	人数	県名	人数	県名	人数
千葉県	5人	県	人	県	人
群馬県	1人	県	人	県	人
県	人	県	人	県	人
県	人	県	人	県	人

## 5.活動内容の報告

### (1)活動の目的

- 1.2017年度北関東ブロック活動の振り返り(意見交換)
- 2.2018年度北関東ブロック活動内容(計画)の検討
- 3.北関東ブロック会員同士の活動内容の共有及び交流(期待される役割や行動への理解を深める)

### (2)具体的な内容

- 1.2017年度の北関東ブロック活動の振り返り
  - ①ブロック会活動:活動の頻度、内容、効果、課題など意見交換
    - ・ 2017年度は2回のブロック会を開催し、ブロック会活動に関する意見交換、個々の活動報告の共有や交流を行った。自己を振り返りその後の活動に役立てることができた。今後も継続したい。
    - ・ 参加人数は毎回会員数の半数以下で、新たな参加者はあるが固定化されていた。
    - ・ 会員が参加したいと思えるよう、実践活動・知識習得や技術向上につながる内容を考えていく必要がある。
  - ②千葉県看護協会主催の訪問看護基礎研修会  
「H29年度訪問看護基礎研修会アンケート結果(要約)」(資料1)内容の共有と意見交換
    - ・ 研修会参加者数、就業者数は共に増加があり、就業につながった。また交流会は効果的であった。参加者は、訪問看護に興味を持ったが、知識・技術の不足や一人訪問の不安を感じていた。楽しさややりがいのほか、伝え方に配慮して大変さや苦勞なども伝える必要がある。
    - ・ 今回、新たに「研修計画・実施・評価表」(資料2)を用いて、研修会担当者が内省できるようにした。それらと講義資料を次回研修会担当者などに送り、準備に役立てることができた。
2. 2018年度の北関東ブロック活動内容(計画)の検討
  - ①ブロック会活動:活動目標や活動内容は前年度を踏まえて同様に継続する  
活動目標
    - ・ 北関東ブロック会員の拡大や参加を促し、会員間の連携・協働体制を強化する
    - ・ 地域の訪問看護職員増員や質向上をめざし、学び交流する場を提供、地域に貢献する活動内容
    - ・ 年2回(5月12日、10月13日予定)ブロック会議及び役員会を開催する。
    - ・ ブロック会議に引き続きの研修会を10月に計画する。
    - ・ 会議では、個々の会員の実践活動の報告、訪問看護に関する情報の共有や交流を行う。

## ②訪問看護基礎研修会:実施概要の共有、今年度実施計画(講師調整)、留意事項の確認など

- ・ 研修内容などは、講師となった者が全体責任者となり、研修会開催前に講義資料を送付、研修会の進行などを含め調整する。
- ・ 昨年度同様に研修担当者は「計画評価表」を作成・送付する。

## 3. 北関東ブロック会員同士の活動内容の共有及び交流(期待される役割や行動への理解を深める)

### ①認知症患者への対応に関すること

- ・ 認知症初期集中支援チームの活動について、訪問看護利用者を多職種チームにつなげる、あるいは逆に訪問看護につなぐなどに関わるとよい。訪問看護では、認知症の引きこもりなどの早期発見や早期支援、倫理的な問題への対応について考えていく必要がある。

### ②実践活動に関すること

- ・ 常に人員不足があり職員確保に苦勞するが、ステーション内だけに限らず、地域の人材育成についても力を入れていきたい。
- ・ 急性期病院では在院日数短縮化などで病棟看護師は十分な患者支援ができないまま退院となっているため、必要な人に支援ができる体制を整えたい。
- ・ 看多機開設や地域のケアマネが訪問看護導入を考えられるよう関わればよい。
- ・ 訪問看護師への精神的な支援やマニュアル等の整理で、職員が定着、増加に転じた。県内の認定看護師のつながりに今後取り組みたい。
- ・ 地域の訪問看護師同士の交流は定期化、今後も継続しつつ病院看護師と訪問看護師の交流の場の拡大をめざしたい。

## (3)活動の効果

- ・ 2017年度の活動を振り返り、それらを基に2018年度の活動計画(案)が具体化できた
- ・ 訪問看護基礎研修会での講師の質の均一化に向けて会員が自主的に取り組み、徐々に形になってきていることを再認識できた。
- ・ 他者の活動を知り交流を図ったことで、活動へのヒントを得て、勇気・元気をもらうことができた。

## (4)その他

- ・ 会議参加者が固定化される傾向にあることや、会員への連絡が容易ではないなどの課題がある。
- ・ 参加しやすいように「参加依頼文」などを発行することはできないのか。



～会議の様子～